



# 2026年度 市民講座 日程予定

1講座:60分 合計13講座

日程・時間	講師	テーマ	テーマ概要
5月9日 9:45~10:45	国際学部 ダニエル テューバー 准教授 [国際学科]	1 洋楽の楽しみ方 —英語のリズムと韻—	本講座では、どのように英語では単語や強弱のリズムがつけられており、また、それがどのように洋楽に反映しているかを説明します。また、韻を踏むことの重要性に注目したうえで、洋楽の歌詞でみられる様々な押韻の方法について探ります。この講座を通して違った側面から洋楽を楽しんでみてください。
5月9日 11:00~12:00	国際学部 山本鉄平 講師 [国際学科]	2 「教養」という思想—ゲーテ「ヴィルヘルム・マイスターの修業時代」を読む	「教養Bildung」は、近代以降のドイツ社会・ドイツ文化の基礎をなす思想で、現代ドイツの様々な社会現象・文化現象にも大きな影響を与え続けている。本講座では、近代的な「教養」思想の起源とされるゲーテ(1749-1832)の小説「ヴィルヘルム・マイスターの修業時代」(1796)を読み解き、「教養」思想の概要と射程を紹介する。
5月16日 9:45~10:45	経営学部 堀上明 教授 [経営学科]	3 始まりの経営学から考える人の マネジメント	始まりの経営学である1911年のテイラーの科学的管理法および、1924年から 1932年にかけて実施されたホーソン実験による人のマネジメントに関する知見を紹介し、その頃から変わらない人のマネジメントの難しさについて、参加者と一緒を考えてみたいと思います。
5月16日 11:00~12:00	経営学部 田中宏昌 教授 [経営学科]	4 中小企業における人的資本経営	中小企業における人的資本経営について皆さんと考えます。人材を「資源」ではなく「資本」として捉え、社員一人ひとりの能力や意欲をどう活かし、組織の成長につなげるか。限られた経営資源の中で、採用・育成・評価を通じて人の力を最大化する中小企業の工夫や事例を紹介します。
5月23日 9:45~10:45	経済学部 渡辺恭彦 准教授 [経済学科]	5 「近代の超克」座談会をめぐって	1942年、座談会「近代の超克」が開催され、京都学派の哲学者、文芸評論家の小林秀雄、詩人三好達治、映画評論家、音楽研究家など各分野を代表する13名が出席しました。専門分化が進んだ現代ではおよそ実現不可能な座談会です。戦争へと向かう日本で、知識人は一体何を討議していたのか考えてみたいと思います。
5月23日 11:00~12:00		6 戦後知識人の社会参加 —60年安保闘争から大学闘争へ	1960年安保闘争は、丸山眞男が聴衆2500人を前に講演し、吉本隆明が「操制の終焉」で頭角を表すなど、知識人が社会的発言をする画期となりました。60年代後半の大学闘争では、高橋和巳や廣松渉が大学教員の立場から全共闘を支持し、結果として職を辞します。大学と社会の境界にいた戦後知識人の言動を辿ってみたいと思います。
5月30日 9:45~10:45	スポーツ健康学部 仲田秀臣 教授 [スポーツ健康学科]	7 足が速い人は“ある筋肉”が大きい?	足が速い人は足の遅い人と比べ、太ももの筋肉やお尻の筋肉が発達しています。それらは目で見ることができ、誰でもその違いがわかります。しかし、目には見えない身体の内部でも“ある筋肉”が大きく発達しています。この講座ではその筋肉の場所、働き、鍛え方などを紹介し、その筋肉と転倒の関わり合いについてもお話しします。
5月30日 11:00~12:00	全学教育機構 大村知美 准教授 [高等教育センター]	8 さわれる宇宙	宇宙は望遠鏡で“見る”だけの世界ではありません。隕石や探査機が持ち帰ったサンプルを“さわって調べ”研究に加え、衝突など、惑星が形づくられ進化していく過程を実験室で再現して調べられる方法もあります。はやぶさ2のように、宇宙空間で実験する時代も始まりました。“見て”“触れて”“つくる”宇宙を紹介します。
6月6日 9:45~10:45	建築・環境デザイン学部 小田和広 教授 [建築・環境デザイン学科]	9 大東市の自然災害と、私たちの防災	本講座では、大東市の自然災害(大雨・台風、地震、土砂災害など)とその備え(防災)について解説します。そのうえで、皆さんがお住まいの地域で「災害時に危ない場所」をどう確認すればよいか、大阪産業大学周辺を例にご紹介します。
6月6日 11:00~12:00	建築・環境デザイン学部 足田訓之 教授 [建築・環境デザイン学科]	10 デザインツールと空間の変遷について	世界遺産から現代建築までの変遷を設計する道具(デザインツール)の進化を通して概観します。
6月13日 9:45~10:45	システム工学部 熊澤宏之 教授 [システム工学科]	11 身の回りのセンサとAIを組み合わせた こんなことが分かります。	常時携帯しているスマートフォン、身につけるスマートウォッチやスマートグラス、自動車に搭載されたカメラ・レーダー・LiDAR、誰でも簡単に空撮ができるドローンなど、多くのセンサデータを容易に収集可能です。そして、これらの大量のセンサデータから有意な情報を抽出するAIの進歩も著しい。これらの動向を、実際の研究例を交えて紹介します。
6月13日 11:00~12:00	システム工学部 草場光博 教授 [システム工学科]	12 レーザーが生み出す未来のものづくり —私たちの生活を変える微細加工技術—	材料の表面に微細構造をつくることで新しい機能性をもたせることができます。これは生物の機能や構造などを模倣してものづくりに応用する技術(バイオミメティクス)で私たちの身近な製品にも使われています。講座では本学で開発した紫外レーザー超微細加工システムを使ったバイオミメティック材料の応用例を紹介します。
6月20日 9:45~10:45	情報デザイン学部 藤本雄紀 講師 [情報システム学科]	13 レーザーカッター・3Dプリンターで 広がるデジタルものづくりの世界	レーザーカッターや3Dプリンターなど、身近になりつつあるデジタル工作機器。この講座では、それらを使った世界中のユニークな作品を紹介しながら、「アイデアを形にする」ためのヒントを探ります。デジタル技術が広げる新しいものづくりの世界を、事例を通して楽しく学びましょう。

## お申し込み方法

大阪産業大学のホームページ([https://www.osaka-sandai.ac.jp/research/society\\_le.html](https://www.osaka-sandai.ac.jp/research/society_le.html))からお申し込みください。ハガキ、FAX、E-mailにてお申し込みをされる場合は住所、氏名(フリガナ)、電話番号、参加希望の講座番号を明記してお申し込みください。また、FAXを使用される場合は下記申込書をご利用ください。

※受付確認のFAX、メール等は致しませんのでご了承ください。



## お問い合わせ・お申し込み先

〒574-8530 大阪府大東市中垣内3-1-1  
大阪産業大学 産業研究所事務局「市民講座」係  
TEL:072-875-3001 FAX:072-875-6551  
E-mail:shi-kouza@cnt.osaka-sandai.ac.jp

本申込書は大学にて厳重に保管し、記入いただいた内容や本講座申し込みにて知り得た情報は、市民講座運営・大学関連行事のご案内をする目的以外には一切利用いたしません。



2026年度  
市民講座

# 受講申込書 FAX:072-875-6551

送信時の表裏の間違いが多くっております。送信面のご確認をお願いいたします。



受講を希望される上記講座名(テーマ)の番号欄に (チェック)をお願いいたします。

フリガナ	受講者ID(郵送物宛名に記載しております)	TEL
氏名		
住所【都道府県・市町村・マンション名・号室までご記入ください】		FAX
〒		